

Y15c 全天モニタ画像座標較正 Web サービスの構築

小澤友彦 (紀美野町文化センター), 川野元聡 (国立天文台), 尾久土正己 (和歌山大学)

全天モニタ画像の取得は研究所や観測所に留まらず、機器の高性能化・低価格化により観光や天文教育を主とした天文台にも広まっている。そして、これらの画像はインターネットを通じ、誰もが閲覧・入手できる環境が整っている。

教育環境は急速な ICT 化が進んでいる。しかし文部科学省平成 27 年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果【速報値】」の「教育用コンピューター 1 台当たりの生徒児童数」から、ICT 化の進捗に地域差があることが見て取れる。また画一的ではあるが、同資料からは教員の ICT 活用指導力の状況にも都道府県ごとに差があることがわかる。以上から児童生徒や教員を補助するツールの開発など環境整備が必要である。

全天モニタ画像から変光星や突発天体の測光を行うには、画像の位置較正が必要となる。また位置較正により、星座線の描画や投影法の変更による各方位ごとの画像の作成にも応用できる。以上から全天モニタ画像の位置較正ツールの開発が重要である。

そこで我々は、全天モニタ画像の位置較正を行うホームページを試作した。ホームページで行うことで利用者側での Linux 環境やコマンドライン作業など専門性の高い作業を不要とし、負担を軽減するためである。システムの概要は、ユーザが全天モニタ画像をサーバへアップロードし、サーバサイドにて位置較正の算出を行い、位置較正の可否や投影係数などをテキスト (HTML) にて表示するというものである。

本発表では、システムの概要ならびに使用環境等について紹介する。また広く公開する際の利用状況などの意見からサーバが負う付加機能などについて議論したい。